

「徳島県企業局経営計画」（見直し案）について

I 目的

企業局を取り巻く社会情勢が一層変化する中で、県政の指針である「『未知への挑戦』とくしま行動計画」（令和元年7月策定）をはじめとする諸計画との整合を図ると共に、現経営計画（平成29年3月策定）に掲げる3つの経営目標に係る取組の確実な進展を図る。

II 見直し内容

1 経営目標における主な取組の追加

（1）地域の自立・分散型エネルギーの導入 ～経営目標① 社会貢献の加速～

- ・市町村等による小水力発電導入を協働で推進
- ・市町村や民間等への相談窓口による技術支援や技術情報の提供
⇒企業局の技術力を生かし、「エネルギーの地産地消」の実現をリード

（2）「Society5.0」に向けた取組 ～経営目標② 安全安心の確保～

- ・企業局設備の保守や維持管理等において、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等の革新技术を積極的に実装、活用
⇒”企業局のスマート化”により、「Society5.0」の実現に寄与

（3）駐車場の利用促進 ～経営目標③ 経営力の強化～

- ・電子決済機能の導入による利便性の向上
- ・だれもが安全かつ安心して利用できる場内環境を整備
⇒利用しやすい駐車場により、「地域の活性化」を推進

2 進行管理表（KPI）の見直し

（1）KPIの見直しの概要

- ・項目数 55項目（現計画：67項目）
 - （内訳）経営目標①社会貢献の加速 15（現計画：16）
 - ②安全安心の確保 17（現計画：24）
 - ③経営力の強化 23（現計画：27）
- ・定量的なKPI数 28項目（50%）【現計画：17項目（25%）】

(2) 新規項目

①小水力発電の市町村等へのプッシュ式導入支援

KPI：「小水力発電事業化プラン協働推進事業」による事業化の支援

②町等が実施する森林の除間伐・植林等を支援

KPI：森林整備面積（除間伐・植林等の面積）：80ha以上／年

③工業用水の代替水確保のための他利水管との連携

KPI：農水管との連結箇所数：R2に3箇所施工

④浄水場浸水対策の集中実施

KPI：浸水対策：R3までに完了

⑤設備保守管理等にIoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどの実装・活用

KPI：AI異常予知システムや点検ドローンの実装、活用

⑥戦略的な広報・PRを通じた企業局への理解促進

KPI：PR動画、エコバッグ等の制作、活用

⑦日野谷発電所の最大取水量の弾力的運用による発電能力の最大限活用

KPI：水利使用許可の変更：R2、運用：R3

⑧駐車場利用台数の確保

KPI：駐車場利用台数：20万台以上／年

(3) 主な修正項目

- ・東京五輪キャンプ地誘致を見据えたカヌー拠点の整備支援

⇒カヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備

- ・スマート回廊ツアープロジェクトの推進

⇒地域の事業者が主体となり企画したツーリズムの実施

- ・企業局の森づくりを情報発信

⇒「エネ・ミューの森」等を活用して普及啓発を推進

- ・新規需要の開拓、雑用水への利用拡大による未売水の低減対策

⇒契約有収率をKPIとして設定：R2に74%、R3に75%

- ・制度改正、規制緩和への政策提言

⇒政策提言の実施と反映状況をKPIとして設定

(4) 主な廃止項目

- ・水素エネルギーの導入に向けた調査・検討

理由：水素エネルギー等導入加速積立金への積立がR1で終了

- ・地下水送水設備の活用、新たな対応の検討

理由：常時、適正な維持管理に努め、関係部局と連携して運用